

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生建築&デザイン専門学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成29年6月30日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 熊野 学

学校関係者評価報告書

麻生建築&デザイン専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的.....	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針.....	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿.....	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	- 1 -
5. 学校関係者評価方法.....	- 1 -
II. 学校関係者評価内容.....	- 2 -
基準 1 理念・目的.....	- 2 -
基準 2 教育の内容.....	- 3 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 4 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果.....	- 5 -
基準 5 学生支援.....	- 6 -
基準 6 学生募集・受け入れ.....	- 8 -
基準 7 社会的活動.....	- 9 -
基準 8 管理運営・財務(学校・各部門).....	- 10 -
基準 9 管理運営・財務(本部).....	- 11 -
基準10 改革・改善.....	- 13 -

平成28年度
(2016年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生建築&デザイン専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
業界関係者	及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 労政課長
業界関係者	高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役
業界関係者	高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 副支社長
業界関係者	戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長
業界関係者	三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役
業界関係者	横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
有識者	太田 昌宏	愛知産業大学 準教授
高校	平野 孝幸	福岡県立 福岡工業高等学校 校長
地域住民	川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長
卒業生	森 大之	
保護者	永田 和弘	

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成29年6月30日（金） 15：30 ～ 17：00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 10号館4階 1041教室

5. 学校関係者評価方法

平成28年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
 A：ほぼ達成している
 B：達成しているがやや不十分
 C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神や教育理念、教育目的・目標については、学校 Web サイトやパンフレット等を通じ公表している。教職員には麻生塾ルールブックにて共有を図り、学生には学生便覧にて理解を促している。また、グローバルシティズン教育を通じ理解を深め、麻生塾の学生としてふさわしい価値ある人材として成長できるよう働きかけている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

ルールブックや学生便覧を通じて、教職員・学生に開示されており、又 WEB サイト等で外部へもオープンにし適切に行われている。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：S

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

麻生塾ルールブック・学生便覧に記載し、周知を図っている。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生便覧への記載、新入生オリエンテーションでの指導、グローバルシティズン教育、Web サイトへの掲載など指導・周知を図っている。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

パンフレット・Web サイト・学則などにおいて本校の教育理念を示している。また、職業実践課程の委員会においてもその見直しや必要性の確認を図っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

「法人の理念」、「教育理念」をもとに学則を作成し、各科の教育目的が明文化されている。各科の教育方針は系会議、教務会議で見直し確認したものを学校構成員に共有し整合性を確認している。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育計画・教育目標について、年初に関係する学校構成員で学生便覧等を用い共有し確認している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年次の活動を踏まえ必要なリソースを把握し、設備投資計画・予算書等で資源の確保を図っている。

基準 2 教育の内容

項目総括

カリキュラムは業界関係者や業界団体等外部の方々の意見を取り入れ検討・改善をしている。また、学生の就職先企業やインターンシップ先、現場見学関係企業などからのコメント等を情報として検討に含めている。それらの情報をもとに関係者間で協議し、理念や方針との整合性を図りながら見直しや改善等に努めている。作成されたカリキュラムをもとにシラバス・コマシラバスの作成を行い周知・共有を図っている。

主な課題及び改善の方向性

デザイン系のトレンドや主流的手法など、変化していく価値観の変動やニーズに柔軟に素早く対応できる仕組みを検討していく必要がある。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

建築やデザイン等の業界団体から率直に意見を頂き、カリキュラム内容の検討に取り組んでいる。最先端なトレンドにも柔軟な対応ができるように努力しており適正である。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学生便覧・Web サイト等に育成人材像やカリキュラムを掲載し周知を図っている。また職業実践課程の委員会からの人材ニーズを把握し、学科の方向付けをしている。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学

生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

カリキュラムは修業年限分を文書化している。担当教員によりカリキュラム作成のための会議を設けシラバス・コマシラバスを作成している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

職業実践課程の教育課程編成委員会にて業界ニーズ・社会ニーズなど意見を取り入れ、カリキュラム会議等において理念等との整合性を検討し反映している。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

科目担当者を中心に関係する教員にて共有を図っている。また、授業実施報告を基に定期的に見直し・検証を図っている。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

ミニアンケートにより適宜状況の把握を行い、課題点があれば発見し改善を図っている。また、授業アンケートの結果に基づき必要に応じて改善策を検討し改善を図っている。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

アンケートと連動した教育力向上プロジェクトでの組織的な体制を設けているほか、検定ゼミ・科目担当者間で改善に取り組んでいる。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: S

■コメント

教育推進グループによる組織的な研修により指導力や能力の向上を図っている。また、計画的に専門分野の研修や指導力向上のための研修に参加を図っている。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

建築・建設現場での見学会をはじめ業界特有のインターンシップを実施し業界理解・職業理解を促進している。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

シラバスに従いグローバルシティズン教育を通じてキャリア教育を行っている。また、続く就職実務においてもキャリア形成

をより具体的にするための指導を行い、社会的・職業的に自立に向けた教育を行っている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

基礎学力を測定し学力の把握に努め、必要な者に専門性の基礎となる数学ゼミを実施し支援を行っている。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

増加傾向にある学生数に対応できる教員の採用には苦戦しつつも対応を図ることができている。新任の教員にはチューターとなる担当教員がつきOJTにて臨んでいる。また、同時に増加に伴う教室・パソコンなど設備の補充を図っている。専門分野の特性として安全管理・安全管理意識は職業観とともに指導を行っている。

主な課題及び改善の方向性

ものづくり・デザインを領域とした学科において変化の早い業界動向に対応した教員のスキル更新を意識していく必要がある。建築の分野においても多様な学生に対応できる教育力の向上を心掛けたい。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

学生数が増加傾向であるが、授業の質を下げない為の施設整備を確保している。また、新任教員の指導や計画的な教員のスキルアップも行われており、教育体制づくりが適切に図られている。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: A

=====

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各科目・各分野に教員が配置され、各教員の役割分担を行っている。複数学年に及ぶ大学併修コースが増加傾向にあり、通信教育を管理・サポートする専任要員を増強している。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業報告書により授業の進捗状況を把握・確認を行い、教務会議・系会議で情報交換を図っている。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

机・椅子・パソコン、プリンター・コピー機等、管理が必要な IT 設備・固定資産は管理表にて管理されている。また、担当を設け管理を行っている。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建設現場・印刷工場等見学の際は事前説明会を実施している、建設途中の現場へ入る場合は現地での安全講習の受講やヘルメット着用にて臨むようにしている。また、災害傷害保険・インターンシップ保険へ加入している。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリアサポートセンターを設置し、求人情報の獲得や支援が行える場を設けている。専任のキャリアカウンセラーを配置しサポートを行っている。

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

グループ校共有の図書館を設置し、各専門分野の図書を備えている。図書貸し出しのための準備を進めている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

事業計画書によって全員に目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。モニタリングシートなどを活用し定期的に目標達成のための検証をしている。

主な課題及び改善の方向性

設定した数値目標はほぼ達成することができている。学生増に伴いより多様な学生への対応が図れるような教育力の向上を課題としていきたい。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

事業計画が教職員間で共有認識されており意識が高い。数値目標も設定されており、目標達成の為の努力を惜しまず教育効果へ反映されている。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

目標は事業計画により共通認識のうえ各担当者において分担した個別目標として設定している。月次の達成度についてモニタリングシートを作成し、それにより進捗を管理し各教員にも共有している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

担当者間で合格目標を共有し月次の進捗をモニタリングシートにより全体にも共有を図っている。結果についてもパンフレット・学校 Web サイトを通じて公表している。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

事業計画書によって検定・認定試験・コンペ実績に関する目標を共有し、共通認識として指導に臨んでいる。指導の状況や結果は月次のモニタリングシートにより共有し検証・報告・公表している。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

事業計画書によって目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。指導の状況や結果は月次のモニタリングシートにより共有し把握している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

事業計画書によって目標を共有し共通認識として指導に臨んでいる。学生の対応についてはガイダンスを実施し、記録表を作成し記録に残し情報を共有できる環境を整えている。退学が懸念される事例について予測を行い指導に役立てており、退学者数等も学校 Web サイトにて情報を公表している。

基準 5 学生支援

項目総括

学校生活の様々な場面を想定した支援体制を設け、支援できる体制を整えている。

担任制度による精度の高い学生状況の把握に努め、状況により保護者や関係部署との連携を図り協調体制で支援を行っている。

また、充実した学校生活のために課外活動の人的・財政的支援を行い、卒業後も校友会による再就職支援や同窓会組織としての支援を継続している。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

担任制がしっかりと確立されており、保護者への連絡・関係部署との連携が万全である。卒業生の校友会への支援や組織運営もしっかりとできており、サポート体制が充実している。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：S

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ガイダンスマニュアルに沿って面談を実施している。内容は記録表に記載し指導者間で共有が図れるようにしている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学前説明会において保護者に対する説明・相談の場を設けている。また、マニュアルのガイドラインに沿って必要に応じ適宜三者面談を実施し説明責任をはたしている。三者面談には状況に応じ担任外の担当・副主任・主任・校長代行の同席を行い、記録を残すようにしている。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポートの有資格者を配置し、教員以外にも進路相談の機会を設けている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

スクールカウンセラーを配置し、相談できる体制を整えている。学生へは学生便覧・教室掲示を通じ相談窓口への方法を提示している。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生便覧に相談窓口への方法を記載し、担任より周知を図っている。また、ハラスメント委員会が組織され担当の委員が研修に参加している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

日本学生支援機構の奨学金制度や各自治体の奨学生制度を案内している。また、授業料減免制度を整備し支援の一助としている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

留学生を担当する担任と国際交流センター間で連携を図り、生活面のサポートを行っている。また、就職支援グループとの連携により留学生・社会人学生・障がいを持つ学生の就職活動の支援を行っている。受給資格を満たす学生には教育給付金制度の活用を支援している。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

スポーツ系クラブ活動だけでなく、ものづくり部・写真部・建築サークル等を組織し、人的・財政的支援を行っている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 卒業生の就職先に対し、就業1年、2年、3年経過後の在籍状況のアンケートを実施している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 最新の情報を適正に発信、随時更新している。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

募集要項をはじめとする媒体にアドミッションポリシーを明示し、求める資質・意欲に沿った学生を募集している。オープンキャンパスをはじめとする募集活動での説明を踏まえ、業界に貢献できる人材と入学を検討する学生とのミスマッチの抑制に努めている。また、広報グループ・学生支援グループ・経営推進部署等、各組織と連携を図り入学への体制を整えている。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

アドミッション・ポリシーを明示し適正に学生募集・広報が実施されている。オープンキャンパス・入学相談でミスマッチがないように丁寧な説明がなされている。募集要項に入学選考方法を明確に示し適正に行われている。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項、学校 Web サイトに明示すると共に、オープンキャンパスにて説明をしている。学校の理念を明文化し、入学者に求める資質・意欲を示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 高等学校を定期訪問するための専門職を置き、ニーズの把握、募集活動への反映に努めている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット・学校 Web サイトに就職実績・検定試験・資格試験の結果、卒業生の情報など実績に基づいた数値を示している。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット・学校 Web サイトに学科毎の育成人材像、目指す資格・修得できる知識やスキル等を明示している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に学費・教材費等を明確に示している。金額は経営推進部署との協議を行い、他校に比較しても大きな差異のない妥当性のある金額にしている。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

選抜方法は募集要項に明示している。入学選考はマニュアルに沿って公正かつ適切に実施されている。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に示される設定に沿って適切に入学者を受け入れ、在籍者管理を月次の管理シートにより把握している。定期的に教育環境・業界ニーズに対応した学科定員の再検討を行い、関係法令に応じ適性に管理・運営を行っている。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

関係業界である企業・地域・関係団体と連携を図りながら社会貢献活動を行っている。将来業界を担う人材への職業理解を促進し、これからの社会の担い手への理解を進めている。例年実施しているお仕事スタジアムへも多くの高校生などが参加し、地域貢献・社会貢献活動の一端となっている。

主な課題及び改善の方向性

地域貢献を目的とした公開講座の検討を進める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

関係業界団体と緊密に連絡・連携を図り、お仕事スタジアム等の企画イベントを通して地域貢献・社会活動への取り組みが行われている。今後は公開講座の検討もしており努力が認められる。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地場の建設会社と連携し建物の改修や地域の建物調査の活動を通じて学生にボランティアを推進している。校務分掌にてボランティア委員会を設置し推進している。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建築士連絡協議会と連携した公開講座を実施した。また、現役高校生を対象としたフォローアップ講座や高校での出張授業を実施している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

俺たち工務店ズ(地場の工務店からなるボランティアグループ)との連携で行われたシバタハウスプロジェクトや九州竹和会とのお仕事スタジアムなどを実施し、地域貢献している。

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

学校の管理・運営体制は関連部署との連携により組織的に運営されており、各種規定・マニュアルを整備し適切な運営が図れる体制を整えている。また、そのための人的・財政的計画を検討し適切な予算の執行・管理を運用できている。

主な課題及び改善の方向性

多様なリスクに対応できる危機管理体制のマニュアルを随時見直し更新を図る。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

規定や業務マニュアルが整備されており、適切な運営体制が整えられている。様々なリスクにおけるマネジメント体制も状況に応じて見直し更新されており適正である。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：S

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行き、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

定期的に MM 会議、教務会議・部門会議を行っており、担当者が参加している。また、議事録を作成・保管している。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

毎年、役割分担表(行事、検定、授業などの各担当)を作成し、全教員に周知している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

防災・防犯対策に関するマニュアルを作成し、教務室内に常時備え置いており、教職員がそれを見ることができる環境を整えている。また、防災・防犯対策に関して責任者の決定や各教職員の役割分担などを行っている。避難訓練も学生、教職員で定期的に行っている。

教職員向けの避難訓練を定期的に行っており、マニュアルもその都度配布している。教職員向け防災マニュアルと学生向け避難訓練マニュアルは年度初めに更新している。全学年を対象とした避難訓練は実施しておらず、次年度の課題。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

個人情報に関する規程(対象一覧とその取扱いについて)に関する文書は全職員に配布しており、それに基づいて活動している。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ハラスメント防止規定に関する文書は全職員に配布しており、それに基づいて活動している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

研修計画は共有ファイル上でいつでも閲覧できる。必要な研修は責任者と相談のうえ実施(参加)している。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算および中期計画に従って管理運営が行なわれている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

部門長によって毎月、予算管理が行なわれている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産台帳を作成し、適切に管理している。

小項目 8-2-10 適用除外

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

管理運営体制の規定整備が行われており、着実に実行されている。IT 設備の更新・図書館整備など学校へのサービスが向上している。学校間での募集活動の差があり、法人での中長期的な経営計画や改善の方向性が示されている。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

=====

基準 9 管理運営・財務（本部）

=====

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。
図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

基準 10 改革・改善

項目総括

自己点検・評価委員会を中心とした活動になっており、委員・部門長により活動している。結果を学校構成員に周知し共通の改善意識を持てるよう努めている。また、内部監査にて検証をした改善点についても共有を図っている。

主な課題及び改善の方向性

教員全体での理解をさらに促進し業務の質の向上を図る意識の定着を図りたい。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

自己点検評価委員会が設置されており、改善意識を持つための努力が認められる。内部監査による改善点の情報共有も図られており業務の質の向上も継続的に行われている。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 実施規定(ルールブック)に基づき適切に点検・評価を行っている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 自己点検・評価委員の活動記録(議事録)や評価結果を実施後に教職員へメールにて配信している。改善活動は全教職員で行っている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

内部監査報告書を作成し、改善計画を策定した上で実施している。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

計画書を基に改善活動を行っている。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

自己点検・評価報告書を文書化し、学校関係者評価委員会の中で、委員に対して結果を公表し、学校の Web サイトで公開している。